

助 - 25 から(理由)

<p>N1 は / が</p> <p>N3 です A1 です AN1 です V1 ます</p> <p>S1</p>	から	<p>N2 は</p> <p>N4 です A2 です AN2 です V2 ます</p> <p>S2</p>
---	----	---

基 本

例 文

- ① あしたは日曜日にちようびですから、学校がっこうへ行き
ません。
- ② きのは祭日さいじつでしたから、学校がっこうは休み
でした。
- ③ わたしは、風邪かぜですから、泳ぎおよません。
- ④ もう大丈夫だいじょうぶですから、心配しんぱいしないでくだ
さい。
- ⑤ 薬くすりを飲のみましたから、もう大丈夫だいじょうぶです。
- ⑥ 医者いしやは夜よるも仕事しごとがありますから、大変たいへんです。
- ⑦ A: 雨あめがやみましたから、出でかけましょう。
B: はい。
- ⑧ A: どうしてわたしでんわばんごうの電話番号でんわばんごうがわかりまし
たか。
B: 小林こばやしさんきに聞ききましたから。

解 説

- A. 「から」は、「です/ます」の活用形かつようけいで終わるS1とS2をつなぐ。(例文①～⑦)
- B. 「から」は、S1がS2で表あらわされていることりゆうの理由しめであることを示す。(例文①～⑦)
- C. 理由りゆうをたずねるときは、「どうしてS2か」つかを使う。(例文⑧)
- D. S2で表あらわされることが何なにかわかっている場合は、S2は省略しょうりやくされることがある。(例文⑧)
- E. 「N2は」は文頭ぶんとうに来くることができる。(例文③)

<p>N2 は</p>	<p>N1が</p> <p>N3 です A1 です AN1 です V1 ます</p>	から	<p>N4 です A2 です AN2 です V2 ます</p>
-------------	--	----	---

先生へ

「から」は助詞。

理由をたずねる質問に答えるとき、「常体形 + からです」と言うこともできる。

例 A: 田中さんもあした来ますか。

B: いいえ、来ません。

A: どうしてですか。

B: 病気だからです。

S1の文末に常体形をとることもできる。

N1とN2が同じ場合は、「N1は/が」は省略される。また、N1とN2が何であるかわかっている場合は、「N1は」「N2は」を省略することがある。

同じように理由を述べるときに使われる「ので」と比べ、「から」は話者の主観的判断にもとづいた理由を示す場合が多い。丁寧にまたは婉曲に理由を述べたいときには、「ので」が使われる。ただし、「ので」は日本語能力試験3級相当の項目。

【関連項目】

- 助-12 から / まで
- 助-27 で (原因 / 理由)
- 助-29 ので
- 文-30 Aくて / ANで / Nで
- 文-31 Vて

【「れんしゅう編」の練習】

- 8-5 アルバイト